

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	英語 A	担当教員	高橋泉			
学年学科	2 年 MCA 科	通年	必修	2 単位		
学習・教育目標 (C-2) 80% (A-2) 20%						
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 言語や文化に対する理解を深めるとともに、国際社会に生きる日本人として必要な実践的コミュニケーション能力の基礎を身に付けることを目標とする。 英文法および語彙の知識を深め、英語コミュニケーション能力を高める。  ①英文法の知識を深める。 ②語彙を増やす。 ③基礎的な英文を読解する。 ④基礎的な英文を発音する。 ⑤基礎的な英文を書く。		<b>成績評価の方法：</b> 前期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋小テスト・課題 100 点 後期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋小テスト・課題 100 点 学年：前期・後期の重みを等しくして合計し、得点率 (%) で成績をつける。  <b>達成度評価の基準：</b> 以下に示す要素の成績評価に対する重みは均等とし、総得点の 60% 以上に達していることが必要になる。 ①課題指定された範囲の英文法の知識がある。 ②課題指定された範囲の語彙力がある。 ③課題指定された範囲の英文を読解できる。 ④課題指定された範囲の英語の発音ができる。 ⑤課題指定された範囲の英語の作文ができる。				
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> 予習・復習を大切にしてください。授業前に必ず教科書本文を読み、設問に答えておきましょう。毎回の授業に必ず辞書を持参すること。積極的に授業に参加してください。授業後は、習った表現をよく復習して使えるようにしましょう。わからないことは早めに教員に質問してください。進度は、学習者の理解度に応じて変動する場合があります。						
教科書および参考書：『New One World -English Communication II-』, 予習・復習ノート, ワークブック (教育出版)						
授業の概要と予定：前期						AL のレベル
第 1 回：授業概要の説明, Lesson 1 Ambassador of World Peace						C
第 2 回：Lesson 1 Ambassador of World Peace						C
第 3 回：Lesson 1 Ambassador of World Peace						B
第 4 回：Lesson 2 Dogs as Human Companions						C
第 5 回：Lesson 2 Dogs as Human Companions						C
第 6 回：Lesson 2 Dogs as Human Companions						B
第 7 回：Lesson 3 The Culture of Bowing						C
第 8 回：中間試験						
第 9 回：Lesson 3 The Culture of Bowing						C
第 10 回：Lesson 3 The Culture of Bowing						B
第 11 回：Lesson 4 The Floating Islands of Lake Titicaca						C
第 12 回：Lesson 4 The Floating Islands of Lake Titicaca						C
第 13 回：Lesson 4 The Floating Islands of Lake Titicaca						B
第 14 回：Lesson 5 Optical Illusion						C
期末試験						
第 15 回：Lesson 5 Optical Illusion, 総まとめ						

授業の概要と予定：後期	AL のレベル
第 1 6 回：Lesson 5 Optical Illusion	C
第 1 7 回：Lesson 6 English Textbooks from Around the World	C
第 1 8 回：Lesson 6 English Textbooks from Around the World	C
第 1 9 回：Lesson 6 English Textbooks from Around the World	B
第 2 0 回：Lesson 7 The Hayabusa Project	C
第 2 1 回：Lesson 7 The Hayabusa Project	C
第 2 2 回：Lesson 7 The Hayabusa Project	B
第 2 3 回：中間試験	
第 2 4 回：Lesson 8 The Origin of Santa Claus	C
第 2 5 回：Lesson 8 The Origin of Santa Claus	C
第 2 6 回：Lesson 8 The Origin of Santa Claus	B
第 2 7 回：Lesson 9 The Only Japanese on the Titanic	C
第 2 8 回：Lesson 9 The Only Japanese on the Titanic	C
第 2 9 回：Lesson 9 The Only Japanese on the Titanic	B
期末試験	
第 3 0 回：これまでの学習内容の総まとめ	

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	英文法に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	英文法に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	英文法に関する問題を解くことができない。
②	語彙に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	語彙に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。	語彙に関する問題を解くことができない。
③	英文読解に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	英文読解に関する問題をほぼ正確(6割以上)に行なうことができる。	英文読解に関する問題をほぼ正確に行なうことができない。
④	発音に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	発音に関する問題をほぼ正確(6割以上)に行なうことができる。	発音に関する問題をほぼ正確に行なうことができない。
⑤	英作文に関する問題を正確(8割以上)に解くことができる。	英作文に関する問題をほぼ正確(6割以上)に行なうことができる。	英作文に関する問題をほぼ正確に行なうことができない。